詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください　© S.K Kumamoto City Infectious Disease Information

令和3年（2021年）第3週　2021年1月18日（月）～2021年1月24日（日）

熊本市　感染症発生動向調査　速報

●水痘（みずぼうそう）が増加しています!!

水痘（みずぼうそう）と突発性発疹が急増、RSウイルスも増加していて注意が必要です。
水痘は、水痘−帯状疱疹ウイルスによる感染症で「みずぼうそう」として知られている病気です。9歳以下に多く、年中みられますが、12月～7月に多い傾向があるため、これからも注意が必要です。

◆どんな病気？

・**症状**……全身性のかゆみを伴う発疹と、38℃前後の発熱が主な症状です。発疹は、まず赤い斑点ができ（紅斑）、次第に盛り上がって（丘疹）、水ぶくれになり（水疱）、かさぶた（痂皮）になります。これらの紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在しているのが特徴です。通常、軽症で終生免疫を得ることが多いですが、ウイルスは治ったあとも体の中に潜伏していて、後に「帯状疱疹」として再発することがあります。

・**潜伏期間**……2週間程度（10～21日）

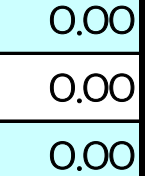
・**感染経路**……**空気感染**、飛沫感染、接触感染。すべての発疹がかさぶたになるまで感染力があります。また、感染力も強く、1人が何人に感染させるかを示す数値（基本再生産数Ro）では、インフルエンザが「（Ro）1−2」に対し、水痘は「（Ro）8−10」と、**インフルエンザの約5倍の感染力があります。**

◆かかったらどうすればいいの？

・治療は塗り薬が中心になります。重症の場合もしくは重症化の防止として、抗ウイルス剤を使用することもあります。

・熱が高いときは特に、水分をしっかりとらせ脱水にならないように気をつけましょう。発疹が出たあとも高熱が続いたり、ぐったりしているときは早めに医療機関を受診しましょう。

・水痘は、学校保健安全法により第二種の感染症に指定されており、登校基準は原則としては、すべての発疹が痂皮（かさぶた）化するまで出席停止とされています。（病状により、医師が感染のおそれがないと認めたときを除く）



◆予防法は？

・予防接種が有効です。2014（平成26）年10月1日から、水痘ワクチンが定期接種となりました。

期　間		2021年　3週		2021年　4週	
		1/18～1/24		1/25～1/31（最新）	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	→	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症　注意！！	↗	22	1.38	34	2.13
咽頭結膜熱(プール熱)	↘	5	0.31	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	13	0.81	8	0.50
感染性胃腸炎　注意!！！	↘	73	4.56	53	3.31
水痘(みずぼうそう) ⚠	↑	0	0.00	10	0.63
手足口病	↘	9	0.56	3	0.19
伝染性紅斑（りんご病）	→	0	0.00	0	0.00
突発性発しん ⚠	↑	8	0.50	20	1.25
ヘルパンギーナ	→	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↘	6	1.20	4	0.80
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	1	0.20